

大垣市環境市民会議 NEWS(特別号)

大垣市環境市民会議は、チーム・マイナス 6%のチーム員になりました。今回のニュースは、その特集号です。

深刻な問題となっている地球温暖化の解決のために世界が協力して作った京都議定書が平成 17 年 2 月 16 日に発効しました。世界に約束した日本の目標は、温室効果ガス排出量 6%の削減。これを実現するための国民的プロジェクト、それがチーム・マイナス 6%です。

環境市民会議も、積極的に CO2 削減を進める活動や暮らし方を進めたいと願って、このチーム員となりました。会員である私たち一人一人が、まずできることをやっていきましょう。そして、それを周りの人たちに広めて仲間を増やしていきましょう。



チーム・マイナス 6%では、6 つの具体的なアクションを示して、それぞれができることにチャレンジすることが求められています。日常生活の中での小さな工夫と実践ですが、これにみんなで取り組めば地球温暖化への歯止めになるはずです。『できることからコツコツと』初めて 続けましょう。

ACT1 冷房は28℃に設定しよう。

冷房の設定温度が低すぎて、夏なのに部屋の中が寒い、体が冷えているといったことはありませんか?「クールビズ」という言葉も浸透してきましたが、みんなが軽装で過ごして1℃冷房の温度を上げるだけでCO2の削減効果が得られます。また、日差しの当たる窓にはカーテンやブラインドをおろすこと、冷房している部屋の窓やドアはきちんと閉めること、エアコンのフィルターの汚れを取り除くなどの小さな工夫で消費電力を減らすことができます。冷房を1℃高く、暖房を1℃低くすると



ACT2 蛇口はこまめにしめよう。

シャワーを1分間出しっ放しにすると10リットルの水が放出されます。家族3人なら、1人1分間で30リットル、ペットボトル15本分のムダに。しかも、水だけでなく、ガスや電気を使ってわざわざお湯にしたものを、じゃぶじゃぶ捨てているのです。また、水道水の送水には、たくさんの電気が使われています。頭を洗っているときなど、必要のない時にはこまめにシャワーを止めることはもちろん、歯磨きのとき、食器の洗浄など、水を使うシーンで無駄に水を流していないか、気をつけてみましょう。



ACT3 アイドリングをなくそう。

停車や駐車時のアイドリングを、無意識のうちにしていませんか？アイドリング時にも、ガソリンは1分あたり約0.014リットルが消費されています。1日5分のアイドリングを止めたとすると、年間20時間(240日として)。特に仕事などで車を頻繁に使われる方ほど、削減量も大きくなります。もちろんその分ガソリン代も節約に。限られた資源を、ムダなく、大切に。停車中は、エンジンをオフ。習慣づけが大切です。



ACT4 エコ製品を選んで買おう。

新しく家電製品を買うときには、ぜひ「省エネ性能」に注目して購入しましょう。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。年間電気料が数万円単位で違うこともあり、特に古い機器を使い続けている場合、買い替えコストと電気代を比べてみると、愕然とする数字が出ることも。お財布にも、環境にも優しい省エネ製品。特に冷蔵庫やエアコンを買い替えの際には、忘れずにチェックしてみてください。



ACT5 過剰包装を断ろう。

1人が1年間で使用するレジ袋は、なんと300枚。買い物の際には専用のバッグをひとつ用意。車の中、バックの中に小さく折りたたんだお買い物バックをひとつ用意、これを習慣にすることで、今大量に使われているレジ袋を削減できます。また、一度もらったレジ袋が一度だけ使われて、そのままごみとして焼却されることにも問題があります。二度三度大切に使うことで、全体のレジ袋の消費量を削減できます。これが、貴重な資源である石油の無駄遣いに歯止めをかけることになり、焼却による環

境への負荷の軽減、焼却処理に使われる税金の節約になります。プラスチックのトレーやお弁当容器、ペットボトルなどの過剰な使用と廃棄にも同様のことが言えます。便利が当たり前になってしまった私たちの暮らしですが、それによって未来に残すべき大切な資源や自然を破壊しています。気持ちを少し変えること、ちょっとしたことを習慣にすることで、環境を守る暮らしに変えていくことができます。



ACT6 コンセントからこまめに抜こう。

電気製品を使用していないときに、タイマーなどのために消費される電力が待機電力。ビデオデッキ、オーディオコンポ、テレビ、電子レンジなどが代表的です。そしてその合計は、家庭の電力消費のなんと10%にも。ここまできると「少くらい」とも言っていない数字です。その対策は、使っていないときに電源プラグをコンセントから抜くこと。少し面倒ですが、まずは使用頻度の低いものからやってみましょう。スイッチ付きコンセントの活用なども便利です。



環境問題は、地球規模の問題だから、「私ひとりが何かしても変わらない・・・」「私ひとりくらい、してもいいだろう・・・」という考えが、状況を悪い方向に進めています。ひとりの力は、本当に小さなものですが、小さな力も結集すれば大きな力になります。「チーム・マイナス6%」は、一人一人の小さな努力を集めて、チーム全体で地球環境を変えていこうという気持ちの現れです。ここでご紹介した情報は、インターネットの「チーム・マイナス6%」ホームページから多くを採りました。もっと具体的な暮らしの中での小さな取り組みを、環境市民会議の会員として、ひとりの地球人として、みんなで見つけて続けていけたらいいと思います。会員のみなさんからも是非、知恵や工夫、実践していることの情報をお寄せください。